



「地球に学ぶ」本校の特選、優秀作品の紹介！

第31回海外子女文芸作品コンクールの最終審査の結果、本校生徒6名の作品が選ばれました。その内、俳句の部でL I 校初等部4年生の吉藤杏菜さんが、特選「東京海上日動火災保険賞」に輝きました。先週の朝の集会時にみんなの前で賞状の伝達をしたところです。立派な盾も副賞として付いてきました。また、短歌の部でW T A校中学1年生に在籍していた田中愛乃さんと作文の部でW T A校初等部2年生のビエム アディア 奈月さんが優秀賞に輝きました。3人の作品は毎年発行されている「地球に学ぶ」(第31回平成22年度)に載っています。ここにその作品を紹介します。

「俳句」の部 特選作品「東京海上日動火災保険賞」

うんどう会バトンをにぎりかぜになる

ニューヨーク補習授業校小4 ^{よしふじ} 吉藤 ^{あん な} 杏菜

「短歌」の部 優秀作品

真っ黄色のスクールバスに飛びこんだ今日も新たな日が始まった

ニューヨーク補習授業校中1 ^{たなか} 田中 ^{あいの} 愛乃

「作文」の部 優秀作品

『三つの国』

ニューヨーク補習授業校小2 ^{なつき} ビエム アディア 奈月

わたしのいえの中には、三つのくにがあります。お父さんのくに、カメルーンと、お母さんのくに、日本です。そしてわたしたちのすんでいるアメリカです。

わたしのかぞくは、三つのことばがわかります。えいごと日本ごとフランスごです。えいごと日本ごはよくわかりますが、フランスごは、ちょっとおずかしいです。

わたしは時々こまることがあります。それは、おかあさんはいつもわたしに時間のことをちゅういします。とくに朝は、

「時間がないから、早くごはんを食べなさい。」

と、毎日言います。でも、お父さんは、

「ゆっくり、おいしくごはんを食べて学校に行きなさい。」

と、言います。

それから、お母さんは、

「せ中をまっすぐにして、ちゃんといすにすわりなさい。あごにひじをついて字を書くのはやめなさい。

くつはちゃんとそろえましょう。」と、言います。

でも、学校では、あぐらをかいてゆかにすわって、先生の話聞くことがあります。

みんなちがうことを言うのでわたしは、ふしぎだなと思います。

サッカーで、日本とカメルーンがしあいをしたときには、お母さんは、

「日本がんばって！」

と、言い、お父さんは

「カメルーンがんばれ！」

と、おうえんしました。そしてわたしといもうとは、

「どっちもがんばれ！」

と、おうえんしました。

三つのくにには、とてもややこしいです。けれども、みんなおなじことを言うのは、

「こんにちは。」

「さようなら。」

「ありがとう。」

を、ちゃんと言いましようと言うことです。

そして、お母さんとお父さんは、

「やさしい子になってね。」

と、いつもわたしに言います。

わたしのいもうとは、今、4才です。これから二人で、三つの国の中のふしぎなことを、たくさん見つけていきたいと思っています。

